

なるべく多くの人と接しながら、人の役に立てる仕事がしたい

保険課 石黒 和礼 （一般事務 平成13年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

4年間勤めた前職の民間企業では、専門的な仕事が多く、あまり人と接する機会がありませんでした。社会人になって、3年間は残業、残業の毎日で日々の仕事についていくのがやっとの状態、自分の本当にやりたいことを考える余裕がありませんでした。しかし、ふと自分の中で、この仕事を一生の仕事にしてよいのかと考えた時に、「なるべく多くの人と接しながら、人の役に立てる仕事がしたい」と考えました。では、それが実現できる仕事とは何かと考えたところ、前に受験した小田原市のことを思い出しました。自分が育った小田原市の職員となり、少しでも良いまちにしたいと考えるようになりました。市の仕事は、多岐に渡り、市民と接する仕事が多々あります。そこで、「自分がどこまでできるかを試してみたい」という思いもあり、小田原市役所を志望しました。

現在の仕事内容

現在は保険課に所属しています。保険課では主に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険、国民年金についての業務を行っています。その中で私は、国民健康保険の業務を担当しています。具体的な仕事内容としましては、国民健康保険に加入している方が出産した場合に支給される出産育児一時金の支払事務や、小田原市が運営している診療所の1年間の予算作成と執行業務を担当しています。

仕事のやりがい

保険課は、事務的な仕事と接遇を伴う仕事があります。

事務的な仕事では、常にスピードと正確性が求められます。そのため、自分の中でどのように仕事をすれば、効率よく、正確に行うことができるかを常に考えて仕事することにより、自分のレベルが上がっていくことを日々実感し、成長していくことができます。

接遇を伴う仕事では、保険課は、役所内でも問い合わせがかなり多い課なので、市民と接する機会が多い課です。そのため、いろいろな方と接する機会があるので、日々市民の方が何を望んでいるのか、どのように行動すればよいのかを考えることで、人としての幅が広がって行きます。

受験生の皆さんへのメッセージ

公務員の仕事は、本当に多岐に渡っていて、どの部署に配属されるかはわかりません。自分のやりたい仕事や、得意な仕事ばかりできるとはかぎりません。そういう場所に配属されても、地道にコツコツと努力し、仕事をしっかりやり遂げる人材が求められていると思います。当たり前のことではないかと思われるかもしれませんが、当たり前のことを当たり前にやるというのは難しいことです。皆様と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



市役所サッカー班の仲間と（前列右から3人目が石黒さん）



保険課の同期4人（後列中央が石黒さん）